

健康福祉部調整担当部長
 今後は様々な手段を模索しつつ取り組んでいきたい。
議員 障がい者の就労体験の場の提供について伺う。
健康福祉部調整担当部長
 実習できる事業所として市内に「星と風のカフェ」等を用意している。今後も重要な取り組みと考えている。

議員 障がい者と共に働くことについて市民等への啓発活動の取り組みを伺う。
市長 本市では「心のバリアフリー」の啓発を始め、共に生きる社会の実現に力を入れている。障がいのある方が働きやすい環境づくりを、NPO法人、関係機関と連携して進めていきたい。

**地域建設産業支援のため
小規模修繕登録制度導入を**



日本共産党 栗原 健治 議員

議員 長期不況による民間需要の減少や公共事業の削減等により、中小建設業者の仕事は激減し、単価が下がる等厳しい経営環境に置かれている。市内建設業者の事業所数の推移を聞く。
市長 平成13年と平成18年の事業所・企業統計調査を比較すると、62事業所の減少となっている。

議員 地元中小建設業者の仕事を作り出すことは、業者の経営を守ること合わせて、地元建設労働者の雇用創出となり、地域経済活性化につながる。市内業者の仕事を増やすための施策を市は検討しているか。
市長 建築事業従事者を対象に「してはいけない施工」

議員 障がい者と共に働くことについて市民等への啓発活動の取り組みを伺う。
市長 本市では「心のバリアフリー」の啓発を始め、共に生きる社会の実現に力を入れている。障がいのある方が働きやすい環境づくりを、NPO法人、関係機関と連携して進めていきたい。

議員 障がい者と共に働くことについて市民等への啓発活動の取り組みを伺う。
市長 本市では「心のバリアフリー」の啓発を始め、共に生きる社会の実現に力を入れている。障がいのある方が働きやすい環境づくりを、NPO法人、関係機関と連携して進めていきたい。

**電車庫通りを分断する
調布保谷線の安全対策を**



日本共産党 森 徹 議員

議員 調布保谷線の道路工事が進む中、JR中央線高架橋下南側（電車庫通りの北側）に信号機が設置された。これまで電車庫通りか

都との協議の有無を伺う。
市長 道路管理者の都と交通管理者の警視庁との協議により決められることではあるが、地元自治体の市長として道路管理者とは信号機の設置場所も含め安全対策について協議してきた。
議員 電車庫通りは三鷹駅と武蔵境駅をつなぐ重要な生活道路だ。朝夕の通勤・通学に利用される人が多く、いつ人身事故が起きてもおかしくない危険な状態だ。調布保谷線完成までの暫定利用の段階で歩行者等の安全を確保するためには電車庫通りと交差する場所に信号機を移設することが適切と考える。早急に都と協議することを求めたい。

議員 調布保谷線の計画では、電車庫通りは幹線道路と見ていないため中央分離帯を設置して通過できない形状を予定している。現状での信号機移設は難しいと考えるが、安全対策の向上が図られるよう引き続き協議していきたい。



調布保谷線と電車庫通りの交差点

**住み続けられる三鷹のために
市民、団体の要望を受けて**



日本共産党 大城 美幸 議員

議員 CT検査を導入することで肺がんの発見率が上がれば検診の受診率向上にもつながる。最新の検査機器の導入を検討すべきだ。
健康福祉部長 今後の財源の確保等も含めて考慮しながら検討していきたい。

議員 現在2日間かけて行われる骨粗しょう症の集団検診を個別検診へ切り替える検討は行っているのか。
健康福祉部長 現在は集団検診の実施を考えている。
議員 近隣自治体では、ほとんどが肺炎球菌ワクチンの助成を行っている。三鷹市はなぜ行わないのか。
市長 鋭意検討している。

議員 胃がんのハイリスク検診の実施について聞く。

議員 胃がんのハイリスク検診の実施について聞く。

**日本無線株移転問題
雇用と地域経済を守れ**



日本共産党 岩田 康男 議員

議員 日本無線株は三鷹製作所を3年後までに全面閉鎖し、土地売却と約600人の人員削減を行うという方針を発表した。多くの従業員や派遣・請負労働者、関連企業、地域経済、市の財政等に与える影響は大きい。
第一副市長 希望退職者、

議員 影響額の予測を聞く。
市民部長 日本無線株と関連企業とで数億円になる。
議員 雇用問題等の対策が大事だ。会社から関係者への情報提供や関係者の声の会社への伝達等が必要だ。

議員 雇用問題等の対策が大事だ。会社から関係者への情報提供や関係者の声の会社への伝達等が必要だ。
第一副市長 十分に連携して情報交換等を行いたい。
議員 更なる対応として、
市長 要望書で本社機能や研究・開発機能の一部を継続的に情報共有や協議の場の設定を求めている。
議員 もし全面閉鎖になった場合、市税収入に与える

**円高危機再発に備えるべく
大型投資事業の全面凍結を**



にし色のつばさ 半田 伸明 議員

議員 リーマン・ショックが市に与えた影響を聞く。
市民部長 市税収入に大きな影響が生じている。個人市民税は減少傾向にあり、法人市民税も予算を許さない経済状況が続いていると認識している。市税収入全体として、リーマン・ショックの影響が表れる前の水準までは回復していない。
議員 深刻な円高危機の再発を危惧している。危機発生後の事後的な対処ではなく、事前に最悪の事態を想

定して堅実な資金繰りを考えるのが経営である。次年度の予算編成は市税収入を厳しめに見積もるべきだ。
市長 引き続き適正な予算見積もりを行っていく。
議員 臨時財政対策債については平成25年度から発行が制限されるが、正式に国から伝わったのはいつか。
企画部長 平成23年度の地方財政対策で示された。
議員 リーマン・ショックが発生し、臨時財政対策債の発行制限が判明したにも

かわらず、新川防災公園整備事業のような大型の事業が進んでいくことが非常に怖い。日本無線株移転問題も発生し、今後の税収は悲観的にならざるを得ない。しかも、現状で人件費と借金返済の合計額が個人市

**女性が輝く
まちづくりをしよう**



にし色のつばさ 野村 羊子 議員

議員 2012年3月「男女平等参画のための行動計画2022」が策定された。新たな行動計画の目標達成のための取り組みを伺う。
市長 従前の計画で未達成の項目を重点的に推進するとともに、男女平等参画審議会での意見をフィードバックするなど目標達成に向けて取り組んでいきたい。
議員 人権を尊重する男女平等意識の醸成には性が人間にとって基本的な権利であるとの認識が重要だ。性に関する教育について伺う。
教育長 教育分野でも人権意識を向上させて適正な男女平等教育を推進すること

を念頭に進めていきたい。
議員 男女平等施策推進の拠点となる女性センター機能拡充の取り組みを伺う。
議員 本市は公立保育園の0歳児の保育定員を削減した。その理由と影響を伺う。
市長 育児休業明けの職場復帰の支援には、特に待機児童の多い1、2歳児の定員拡充が喫緊の課題でありワーク・ライフ・バランスを実現する上でも好ましい影響があると考えている。

民税総額を超えるという実態がある。もし、再度リーマン級の危機が発生した場合乗り切れるのか。新川防災公園整備事業のような大型投資事業は全面凍結せよ。
市長 きちんとした進行管理で計画どおり進めたい。

**脱「貧困・格差」社会
実現のために**



にし色のつばさ 鳴崎 英治 議員

議員 生活保護制度について、就労に結び付けるため等と連携し、就労の継続のための支援を進めたい。
議員 三鷹市において、DVや離婚にまつわる暴力、